



平成 31 年 2 月

平成 31 年度当初予算の概要

	ページ
1 平成 31 年度当初予算の概要	1
2 平成 31 年度当初予算総括表	9
3 平成 30 年度 2 月補正予算総括表	10

神奈川県川崎競馬組合

平成 31 年度当初予算の概要

～川崎競馬の経営基盤を強化するとともに、にぎわいのある競馬場づくり、強い馬づくりを推進する～

I 予算編成の基本的な考え方

- 1 川崎競馬経営計画に掲げた経営目標（①単年度黒字の継続と基金の着実な積立て、構成団体への配分金の安定的な繰出し②川崎競馬本場の売上・入場者数の拡大③地域社会から愛され親しまれる川崎競馬場の確立）を達成するため、計画に盛り込んだ施策に着実に取り組む。
- 2 にぎわいのある競馬場づくりを推進するため J R A ファンの川崎競馬への誘客にも力を注ぐなど本場売上及び本場入場者数をさらに拡大できるよう、積極的な対応を図る。
- 3 強い馬づくりを推進するため、川崎在きゅう馬の頭数確保や川崎所属馬及び所属騎手の成績の向上及びきゅう務員の確保、老朽化した小向きゅう舎等の施設や設備の更新などに積極的な対応を図る。
- 4 公正競馬の確保に向けて、関係者一人ひとりが常にその意識を持ち、適正な業務を遂行するための施策を実施する。
- 5 職員の斬新で幅広いアイデアを活かし、川崎競馬の振興につなげるとともに各課の連携を更に強固なものとするため組織を見直し、より働きがいのある競馬組合づくりを推進すると共に経営の安定化を継続する。

II 予算規模

(単位：億円、%)

区 分	平成 31 年度 当初予算額 A	平成 30 年度			対前年度比較		
		当初予算額 B	2月補正 予算額 C	2月現計 予算額D (B+C)	A/B	A/D	
予算総額	742.8	715.3	61.7	777.0	103.8	95.6	
勝 馬 上 投 票 金 (規 模)	川崎競馬 開催	670.0	660.0	40.0	700.0	101.5	95.7
	地方競馬 受託場外発売	238.0	220.0	42.0	262.0	108.2	90.8
	JRA 受託発売	289.0	270.0	17.0	287.0	107.0	100.7

(注) 一千万円未満切捨てのため、合計は符合しない。

III 競馬開催等の状況

1 実施方針

- 川崎競馬開催
 - ・ 正月開催を実施する。(平成 18 年度以降 14 年連続)
 - ・ 全 14 回の開催を行う。(前年度比 1 開催増)
 - ・ 原則として、月曜日から金曜日までの 5 日間開催とし、売上が最も見込める水曜日に重賞競走を実施する。
 - ・ 幅広いファンに楽しんでいただけるよう J R A と競合する日曜日(10 月 20 日、11 月 17 日)にも開催する。

- 地方競馬受託場外発売 ・南関東他3場(大井、船橋、浦和)の全日程を場外発売する。
・併せて、南関東他3場以外の競馬場のレースもできる限り場外発売する。
- J R A受託発売 ・代替開催日を除き、J R Aの全日程を受託発売する。

2 開催日数等

区 分		平成 31 年度	平成 30 年度
川崎競馬 開催	開催回数	14 回 (11 回)	13 回 (10 回)
	開催日数	64 日 (50 日)	63 日 (49 日)
地方競馬受託場外発売		210 日 (130 日)	208 日 (130 日)
地方競馬 計		274 日 (180 日)	271 日 (179 日)
J R A受託発売		108 日 (—)	108 日 (—)
合 計		382 日 (180 日)	379 日 (179 日)

(注) () はナイト開催分を内数で示す。

IV 平成 31 年度当初予算の重点的な取組み (凡例 ① : 新規事業)

1 売上及び入場者数の拡大に向けた取組み

(1) 魅力ある競走の実施

- 賞金及び手当の充実 44 億 4,387 万円(対前年度比 2 億 4,806 万円増)
ファンの興味をひく、魅力ある競走番組を実施するため、賞金及び手当を増額するとともに、川崎らしい特色あるレースを実施する。
 - ・ 2 歳馬競走の賞金引上げ 8,436 万円
J R A 認定特別競走、特別競走、特選競走の 1 着賞金の引上げを行う。
 - ① ・ 在きゅう馬長距離出走手当の創設 972 万円
3 歳上 2,000m 以上、2 歳 1,600m の普通競走、特別競走(重賞・準重賞は対象外)に出走した在きゅう馬に対し、馬主、調教師、調教師補佐、きゅう務員に長距離出走手当を支給する。
 - ・ 川崎在きゅう馬出走奨励金の充実 8 億 7,152 万円
川崎在きゅう馬が出走した場合の馬主に対する出走奨励金を引き上げる。(11 万円→12 万円)
 - ・ 調教師、調教師補佐、騎手及びきゅう務員に対する奨励金の支給 3 億 1,480 万円
各競走において調教奨励金、調教師補佐奨励金、騎乗奨励金及びきゅう務員奨励金を支給する。(前年度より 1,000 円増額)
 - ・ 着外手当の充実 1 億 8,466 万円
着外手当のうち、川崎在きゅう馬の付加金支給分を引き上げる。(3 万円→4 万円)

○ 競走番組の充実

- ・牝馬限定競走である「川崎ヴィーナズシリーズ」や川崎競馬名物の毛色を限定した競走（くろうま賞（青毛、青鹿毛、黒鹿毛限定）、ホワイトクリスマス賞（白毛、芦毛限定）、ゴールデンホース賞（栗毛、栃栗毛限定））を実施する。
- ・短距離競走（900m）である「川崎スプリントシリーズ」を体系的に実施するとともに、長距離競走（2000m・2100m）もできる限り実施し、距離の多様化を図る。
- ・全国の競馬場のトップ騎手を集めた佐々木竹見カップジョッキーズグランプリや川崎競馬所属騎手限定の川崎ジョッキーズカップ、地方競馬とJRAの若手騎手が競うヤングジョッキーズシリーズのトライアルラウンドを実施する。

○ 川崎競馬の魅力向上に向けた強い馬づくり

6億6,194万円（対前年度比3億4,921万円増）

川崎競馬の魅力を高めるため、強い馬づくりに向けた施策として、練習馬場の改修や川崎在きゅう馬の頭数確保策、きゅう務員の確保に向けた施策等を積極的に実施する。

⑨・小向練習馬場改修費

2億7,522万円

練習馬場内の走路の整備

・馬主協会奨励馬事業費補助の充実

1億6,000万円

神奈川県馬主協会が実施する川崎競馬に出走させる目的で2歳馬及び3歳馬を入きゅうさせる馬主に奨励金を支給する事業について、補助対象頭数の充実を図る。（105頭→130頭）

・競走馬育成施設等活用補助の充実

2,050万円

川崎在きゅう馬を坂路等を有する外部の育成施設等に預けて調教を行う場合の施設使用料、馬輸送経費等について馬主に助成する事業について、対象頭数の充実を図る。
（15頭→25頭）

・川崎在きゅう馬確保及び出走率向上対策の充実

1億1,025万円

川崎競馬場において川崎在きゅう馬を出走させた場合の馬主、調教師、調教師補佐、騎手、きゅう務員に対する特別競走（重賞競走を含む。）に係る特別報奨金について、一般競走と同様に入着した場合に支給する。

・川崎競馬場所属騎手の騎乗機会向上対策の充実

2,503万円

川崎競馬場において川崎在きゅう馬に川崎競馬場所属騎手を騎乗させた場合の調教師に対する奨励金の支給額を引き上げる。（3,000円→7,000円）

⑨・きゅう務員確保対策の充実

4,320万円

きゅう務員を確保するため、きゅう務員に対する社会保険を充実すると共に就労環境を改善する。

(2) 広報・ファンサービスの充実

- 積極的な広報の展開 7億6,173万円（対前年度比1億4,559万円増）
川崎競馬開催の広報はもとより、WINS川崎の認知度を向上させ川崎競馬の売上及び入場者数の拡大を図るため、様々な媒体を積極的に活用し広報を展開する。

〈充実強化事業〉

- ・日刊紙（スポーツ紙）への馬柱掲載地区の拡大（名古屋・大阪・九州地区）
- ・地元タウン誌での告知広告の拡充
- ・鉄道用デジタルサイネージ広告の拡充
- ・本場への誘導促進等に向けた川崎競馬WEB特設サイト及び広告の配信
- ・駅貼りポスター設置駅の追加
- ・電車内中吊り広告路線の見直し

- 魅力あるファンサービスの実施

川崎競馬本場及びWINS川崎の入場者数の拡大と売上の増進を図るため、魅力あるファンサービスを実施する。

〈**新**新規事業〉

- ・Wi-Fi環境の整備 1,838万円
- ・レース映像の充実 1,081万円
重賞日のゲートカメラの追加、第2パドックカメラの常設化

〈充実強化事業〉

3億2,379万円

- ・子供向けヒーローショー等ファミリー層向けイベントや馬とのふれあいイベントの充実
- ・ダートグレード競走施行開催及び正月開催における場内装飾の実施
- ・貴賓室の有効活用に向けたサービスの充実
- ・WINS川崎におけるイベントの実施

〈重点事業〉

- ・にぎわいのある競馬場づくり事業の実施 4,747万円
本場開催への来場を促進し、さらなるにぎわいのある競馬場に向けて、本場のナイター開催日や週末のWINS川崎営業日にイベントや県内地域と連携した飲食、物産展などを実施する。
- ・ケンタッキーラウンジのサービスの充実（勝馬投票券自動発売機等の更新）

(3) 国際化に向けた対応

- 国際交流競走出走馬輸送等関係費 4,140 万円
全日本2歳優駿競走を国際競走として実施するため、外国からの出走馬の受入、輸送、関係者招待業務、要領細目外国語版の作成を行う。
- 全日本2歳優駿競走開催時の場内装飾の実施（再掲） 953 万円
全日本2歳優駿競走開催時にケンタッキーダービーとの連携を図るため、場内装飾により開催を盛り上げる。
- オーストラリアとニュージーランドにおける川崎競馬の馬券発売に伴う収入 1,921 万円
オーストラリアとニュージーランドにおいて川崎競馬の馬券を発売することに伴い、川崎競馬のレース映像を提供することによるライセンス料を収入として計上する。
- 外国人来場客への対応 55 万円
1号スタンドの貴賓室を利用する外国人グループ客の求めに応じて通訳者を配置する。
- Wi-Fi環境の整備（再掲） 1,838 万円

(4) 川崎競馬場の場内環境等の改善

- 施設環境の改善及び機材等の更新
競馬開催における安全確保を図るため、本馬場等の砂の入替や老朽化した機材等の更新を行う。また、発走地点において使用しているスタンドカー等を更新する。

（主な整備内容）

- ・本場馬場及び練習馬場の砂の入替、ハローけん引車の更新
施設管理費 3億1,979 万円の一部
- ・スタンドカーの更新 1,200 万円
- ・内ラチの交換 5,318 万円

(5) 経営計画の改定

- ① 経営計画推進事業費 500 万円
経営計画及び小向きゅう舎地区整備計画の策定に向けた調査を行う。
- 職員提案事業推進費 1,000 万円
職員からの提案事業について、効果が認められる場合にはスピード感をもって実施するため、必要な経費を一括して予算計上する。

2 経営の効率化・安定化に向けた取組み

(1) 民間活力の活用推進

- 業務の一部委託化 1,699万円
更なる経営の効率化に向けて、新たに勝馬投票券発売業務、着順決定補助業務、賞金等支払補助業務などの一部を委託化する。

(2) 設備等整備基金の積立てと活用

「川崎競馬施設・設備整備計画」に位置付けた、本場や小向きゅう舎の設備整備、地方競馬における強い馬づくりや本場入場者の増に資する施設整備を計画的に実施していくため、設備等整備基金の積立て及び活用を行う。

- 積立て 30年度2月補正予算15億円、31年度当初予算10億円
- 取崩しによる活用 13億7,283万円
(主な整備内容)
 - ・内馬場：サンサン広場の芝生化
 - ・小向きゅう舎：馬房環境向上のための冷房設備の設置
 - ・小向きゅう舎管理棟：騎手調整ルームと調騎会館の整備
 - ・勝馬投票券自動発売機等の更新

3 公正で安全な競馬の着実な実施に向けた取組み

禁止薬物陽性馬の発生防止対策を徹底するとともに、放馬事故防止等、公正確保・事故防止対策を強化する。

- 小向きゅう舎監視カメラの設置 1億1,866万円
きゅう舎内の馬及び場内の監視を強化するとともに外部からの侵入者を抑止する。
- 小向練習馬場ラチ柵・馬止柵設置及び監視小屋の更新 985万円
小向練習馬場の放馬事故防止のため、ラチ柵を強化する。また、老朽化している監視小屋を更新する。
- 小向練習馬場馬衝機の更新 721万円
小向練習馬場馬衝機（馬体重計）を現行のアナログ式からデジタル式にすることにより、測定時間の短縮を図り、きゅう務員の負担軽減と馬の事故防止を図る。

4 地域社会との連携・協調の推進に向けた取組み

(1) 地域社会から愛され、親しまれる川崎競馬場づくりの推進

ファミリー層向けやWINS川崎営業時のイベントを充実するとともに、構成団体や県内市町村、地元企業等の協賛レースを増やし、地域社会との連携を強化する。

また、競馬場近隣で行われるイベントに参加し、地域住民との交流を図る。

- ・市町村協賛レース
- ・にぎわいある競馬場づくり事業（再掲）
- ・近隣自治会の夏祭り等への参加

(2) プラスチックごみの減量

368 万円

プラスチックごみの減量を図るため、特別観覧席内のマークカード記入用のプラスチック鉛筆を木製鉛筆（10 万本）に変更する。

(3) とともに生きる社会へ向けた取組

障がい者就労施設への名刺等印刷の発注や清掃等の委託を推進する。

(4) 県畜産会補助金

360 万円

県畜産会の畜産品普及啓発事業等に対し助成するとともに、同会と連携し畜産関連イベントでの広報、ファンサービス品の提供等を実施する。

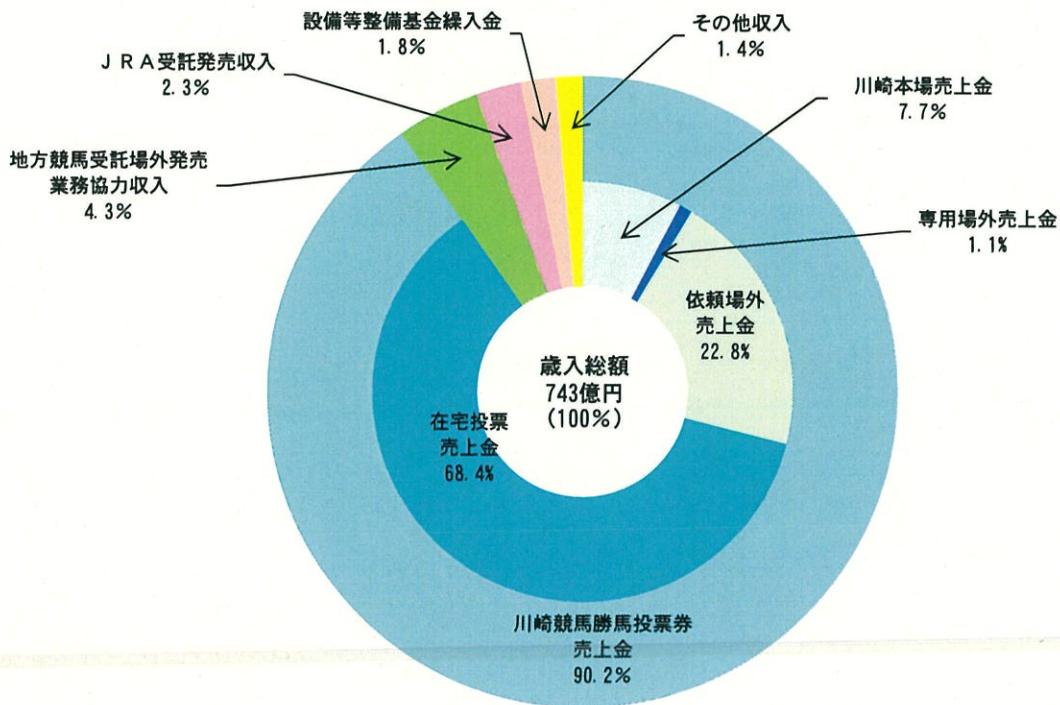
(5) 構成団体への収益配分金の増額

地方財政に寄与するため、神奈川県と川崎市への収益配分金の繰出金を増額する。

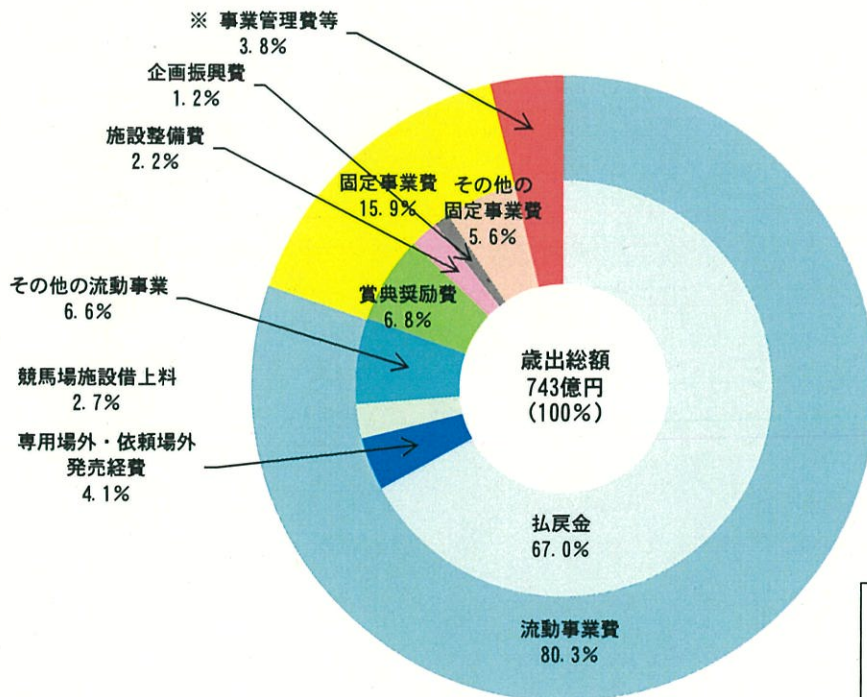
5 億 4,000 万円（神奈川県 3 億 6,000 万円、川崎市 1 億 8,000 万円）

(参考) 平成31年度当初予算 歳入・歳出の内訳

【歳入】



【歳出】



※ 事業管理費等 内訳	
事業管理費等	1.4%
設備等整備基金積立金	1.3%
経営安定化基金積立金	0.0%
構成団体繰出金	0.7%
予備費	0.4%

平成31年度当初予算総括表

【歳入】

(単位：千円、%)

区 分	平成31年度		平成30年度		比較増減	
	当初予算額A	構成比	当初予算額B	構成比	A-B	A/B
川崎競馬勝馬投票券売上金	67,000,000	<100.0> 90.2	66,000,000	<100.0> 92.2	1,000,000	101.5
川崎本場売上金	5,175,000	<7.7> 7.0	5,742,000	<8.7> 8.0	△567,000	90.1
専用場外売上金	720,000	<1.1> 1.0	847,000	<1.3> 1.2	△127,000	85.0
依頼場外売上金	15,276,000	<22.8> 20.5	17,424,000	<26.4> 24.3	△2,148,000	87.7
在宅投票売上金	45,829,000	<68.4> 61.7	41,987,000	<63.6> 58.7	3,842,000	109.2
地方競馬受託場外発売業務協力収入	(23,800,000) 3,201,555		(22,000,000) 2,917,294		(1,800,000) 284,261	(108.2) 109.7
JRA受託発売収入	(28,900,000) 1,681,356		(27,000,000) 1,565,321		(1,900,000) 116,035	(107.0) 107.4
設備等整備基金繰入金	1,372,826	1.8	350,000	0.5	1,022,826	392.2
その他収入	1,026,263	1.4	702,385	1.0	323,878	146.1
計	74,282,000	100.0	71,535,000	100.0	2,747,000	103.8

(注1) <>内は川崎競馬勝馬投票券売上金の構成比を示す。(注2) ()内は受託発売にかかる売得金額を示す。

【歳出】

区 分	平成31年度		平成30年度		比較増減	
	当初予算額A	構成比	当初予算額B	構成比	A-B	A/B
流動事業費	59,625,837	80.3	58,676,374	82.1	949,463	101.6
払戻金	49,759,041	67.0	49,047,469	68.6	711,572	101.5
地方競馬全国協会交付金	927,500	1.2	914,250	1.3	13,250	101.4
地方公共団体金融機構納付金	430,000	0.6	250,000	0.4	180,000	172.0
専用場外発売費	488,785	0.7	515,432	0.7	△26,647	94.8
依頼場外業務協力費	2,524,157	3.4	2,794,316	3.9	△270,159	90.3
競馬場施設借上料	2,022,036	2.7	2,010,960	2.8	11,076	100.6
その他の流動事業費	3,474,318	4.7	3,143,947	4.4	330,371	110.5
固定事業費	11,783,868	15.9	10,358,828	14.5	1,425,040	113.8
競馬場施設管理費	557,972	0.8	491,153	0.7	66,819	113.6
賞典奨励費	5,057,061	6.8	4,778,645	6.7	278,416	105.8
企画振興費	904,584	1.2	686,726	1.0	217,858	131.7
地方競馬受託場外発売運営費	286,219	0.4	279,327	0.4	6,892	102.5
JRA受託発売費	506,947	0.7	485,312	0.7	21,635	104.5
施設整備費	1,661,020	2.2	1,456,215	2.0	204,805	114.1
その他の固定事業費	2,810,065	3.8	2,181,450	3.0	628,615	128.8
事業管理費等	1,030,782	1.4	748,308	1.0	282,474	137.7
設備等整備基金積立金	1,001,363	1.3	1,001,040	1.4	323	100.0
経営安定化基金積立金	150	0.0	450	0.0	△300	33.3
構成団体繰出金	540,000	0.7	450,000	0.6	90,000	120.0
予備費	300,000	0.4	300,000	0.4	-	100.0
計	74,282,000	100.0	71,535,000	100.0	2,747,000	103.8

平成30年度 2月補正予算総括表

【歳入】

(単位:千円)

区 分	予算現計額A	2月補正予算額B	2月現計予算額A+B
川崎競馬馬投票券売上金	66,000,000	4,000,000	70,000,000
川崎本場売上金	5,742,000	△482,000	5,260,000
専用場外売上金	847,000	△97,000	750,000
依頼場外売上金	17,424,000	△974,000	16,450,000
在宅投票売上金	41,987,000	5,553,000	47,540,000
地方競馬受託場外発売業務協力収入	(22,000,000) 2,917,294	(4,200,000) 555,874	(26,200,000) 3,473,168
JRA受託発売収入	(27,000,000) 1,565,321	(1,700,000) 93,636	(28,700,000) 1,658,957
設備等整備基金繰入金	350,000	151,820	501,820
前年度からの繰越金	-	1,309,406	1,309,406
その他収入	702,385	68,972	771,357
計	71,535,000	6,179,708	77,714,708

(注) ()内は受託発売にかかる売得金額を示す。

【歳出】

区 分	予算現計額A	2月補正予算額B	2月現計予算額A+B
流動事業費	58,676,374	4,797,272	63,473,646
払戻金	49,047,469	4,383,331	53,430,800
地方競馬全国協会交付金	914,250	80,000	994,250
専用場外発売費	515,432	24,302	539,734
依頼場外業務協力費	2,794,316	△154,450	2,639,866
競馬場施設借上料	2,010,960	18,036	2,028,996
地方公共団体金融機構納付金	250,000	△62,077	187,923
その他の流動事業費	3,143,947	508,130	3,652,077
固定事業費	10,358,828	△69,921	10,288,907
競馬場施設管理費	491,153	-	491,153
賞典奨励費	4,515,270	△43,861	4,471,409
企画振興費	686,726	△5,532	681,194
地方競馬受託場外発売運営費	279,327	△14,677	264,650
JRA受託発売費	485,312	△33,258	452,054
その他の固定事業費	3,901,040	27,407	3,928,447
事業管理費等	748,308	△47,643	700,665
設備等整備基金積立金	1,001,040	1,500,000	2,501,040
経営安定化基金積立金	450	-	450
構成団体繰出金	450,000	-	450,000
予備費	300,000	-	300,000
計	71,535,000	6,179,708	77,714,708